

フェスティバルトーキー実行委員会	
顧問	野村 萬 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 会長・能楽師 福原義春 株式会社資生堂 名誉会長
名誉実行委員長	高野之次 豊島区長
実行委員長	森田 広 アサヒグループホールディングス株式会社 相談役
副委員長	市村作知雄 NPO法人アートネットワーク・ジャパン 会長
	栗原 直 豊島区文化商工部長
	東澤 昭 公益財団法人としま未来文化財団 常務理事／事務局長
委員	岡田恭子 株式会社資生堂企業文化部長 尾崎元規 公益社団法人企業メナ協議会 理事長・花王株式会社 顧問 熊倉純子 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 教授 小沼克年 アサヒビール株式会社社会環境部 部長 鈴木正美 東京商工会議所豊島支部 会長 扇田昭彦 演劇評論家
	永井多恵子 公益社団法人国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター 会長 小澤弘一 豊島区文化商工部文化デザイン課長
	岸 正人 公益財団法人としま未来文化財団 部長 蓮池奈緒子 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 理事長 小島寛大 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 理事
監事	鈴木さよ子 豊島区総務部総務課長
法務アドバイザー	福井健策、北澤尚登(骨董通り法律事務所)

ディレクターズコミッティ	
代表	市村作知雄
副代表	小島寛大
メンバー	楢松祐子、河合千佳、喜友名織江、長原理江、横堀広彦

フェスティバルトーキー実行委員会事務局	
事務局チーフ	蓮原円花
制作	小島寛大、楢松祐子、河合千佳、喜友名織江、高橋マミ、十万垂紀子、松嶋瑞香、荒川真由子、横堀広彦、小山ひとみ、砂川史織、松宮俊文、守山真利恵、横井貴子
広報	楢江紗恵、湯川裕子
企画営業	長原理江
票务	渡邊絵里、穴戸 円
チケットセンター	佐々木由美子、佐藤久美子
事務局アシスタント	平田幸栄
経理	堤 久美子
総務	蓮池奈緒子、一色壽好、横川京子

技術監督	寅川英司
技術監督アシスタント	加藤由紀子
照明コーディネーター	佐々木真喜子(株式会社ファクター)
音響コーディネーター	相川 益(有限会社サウンドウィーズ)
アートディレクション&デザイン	河村康輔 二階謙サトシ(SHOHEI×河村康輔)
メインビジュアル	濱田真一+番松 佑+菅原直也(株式会社ロフトワーク)
ウェブサイト	アンドリュース・ウィリアム
海外広報・翻訳	渡辺 淳
物販	鈴木理映子
執筆・当日パンフレット編集	鈴木理映子

アジアシリーズ・プログラミング	李 丞孝
シュリンゲンジープ特集 企画・コーディネート	ウルリケ・クラウトハイム

主催：フェスティバルトーキー実行委員会、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、NPO法人アートネットワーク・ジャパン
共催：公益社団法人国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター
アジアシリーズ共催：独立行政法人国際交流基金(国際交流基金 東アジア共同制作シリーズ Vol.2)
協賛：アサヒビール株式会社、株式会社資生堂
後援：外務省、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、J-WAVE 81.3FM
特別協力：西武池袋本店、東京百貨店池袋店、東武鉄道株式会社、株式会社サンシャインシティ、デパート 株式会社
協力：東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、一般社団法人豊島区観光協会、一般社団法人豊島産業協会、公益社団法人豊島法人会、池袋西口商店街連合会、特定非営利活動法人ゼファ池袋まちづくり、ホテルロボロタン、ホテルグランドシティ、池袋ホテル会
宣伝協力：株式会社ポスターハリス・カンパニー

アーツカウンシル東京 フェスティバル助成(公益財団法人東京都歴史文化財団)
平成28年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ(池袋／としま／東京アーツプロジェクト 事業)
公益社団法人企業メナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド 採択事業
フェスティバルトーキー14は東京クリエイティブワークスと広報連携しています。
会期：2014年11月(土)ー11月30日(日)

インターン:阿部佑加、入江都美、岡崎由栄子、加藤希美、加藤彩、神永真美、川村知也、北村未来、木田みのり、佐藤隆紀、清水千奈美、杉本真理江、高橋雅臣、田中秀樹、田中紗織、田中直子、遠山高江、中村みなみ、萩原千亜紀、橋本萌、針谷慧、平石真輝、福地紗綾、三羊文乃、山下登枝子、山口将輝、吉原早紀

PT/クルー:青柳佐代子、秋元エマ、阿久根夕佳、朝倉知世、浅川喜子、熱田明美、阿部敬子、荒井純香、新井顕行、有本裕美子、安藤香里、五十嵐未来、井口真帆、井手上紗織、今川涼香、上野智美、榎悠里、大塚幸、大迎美希、大出晴、小川真理子、小山内梓希、小野寺すず、畑田みずほ、加藤千夏、片山悠太郎、桂屋穂子、加藤真帆、菅野沙和子、北原七海、児嶋祐佳、小林惠理子、境田博美、佐川逢枝、崎津梨、福彩夏、藤原沙織、島根悠子、霜島桜子、鈴木南、間島寿生、高橋志緒、高松章子、田中正雄、民谷絵美子、津田貴生、照沼静香、渡波航、富永愛香、中俣恵美、中川朋子、中村樹樹、中村光子、中村光子、根本明美、波田野子乃、峰谷翔子、林ひかり、平野桃里、胡瀬、藤田紀子、富士原和代、又村実穂、三ツ木孝輔、松永愛子、宮川学、宮内隆生、森田結香、山口侑紀、四浦直希、吉田美幸、四方田結子、跡見学園女子大学 曾田ゼミシンカワゼミ

					
豊島区 TOSHIMA CITY	公益財団法人 としま未来文化財団	ANJ NPO法人アートネットワーク・ジャパン Arts Network Japan			
JAPAN FOUNDATION 国際交流基金	Asahi アサヒ株式会社	SHI/EIDO	ARTS COUNCIL TOKYO		

発行：フェスティバルトーキー実行委員会 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1 にしすがも創造舎 TEL:03-5961-5202 http://festival-tokyo.jp/
編集：鈴木理映子、フェスティバルトーキー実行委員会 デザイン：小林 剛（UNA） ※内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。 禁無断転載

Festival/Tokyo Executive Committee	
Advisors: Man Nomura, Chairman, Japan Council of Performers Rights & Performing Arts Organizations, Noh Actor Yoshiharu Fukuhara, Honorary Chairman, Shiseido Co., Ltd	
Honorary President of the Executive Committee: Yukio Takano, Mayor of Toshima City	
Chair of the Executive Committee: Hitoshi Ogita, Adviser to Board, Asahi Group Holdings, Ltd.	
Vice Chair of the Executive Committee: Sachio Ichimura, Director, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ)	
Akira Kurihara, Director of Culture, Commerce and Industry Division of Toshima City	
Akira Touzawa, Director of Secretariat of Toshima Future Culture Foundation	
Committee Members: Kyoko Okada, General Manager, Corporate Culture Department, Shiseido Co., Ltd.	
Motoki Ozaki, President, Association for Corporate Support of the Arts, Corporate Advisor, Kao Corporation	
Sumiko Kumakura, Professor, Department of Musical Creativity and the Environment, Tokyo University of the Arts	
Katsutoshi Konuma, General Manager, Social & Environmental Department, Asahi Breweries, Ltd.	
Masami Suzuki, Chairman, Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima	
Akihiko Sendā, Theatre Critic	
Taeko Nagai, Chairman, Japanese Centre of International Theatre Institute (ITI/UNESCO)	
Kouichi Ozawa, Culture, Commerce and Industry Division of Toshima City, Director of Cultural Design Section	
Masato Kishi, Executive Manager of Toshima Future Culture Foundation	
Naoko Hasuike, Representative, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ)	
Hiroto mo Kojima, Board Member, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ)	
Supervisor: Sayoko Suzuki, General Affairs Division, Director of General Affairs Section of Toshima City	
Legal Advisors: Kensaku Fukui, Hisato Kitazawa (Kotto Dori Law Office)	

Directors Committee	
Representative: Sachio Ichimura	
Deputy Representative: Hiroto mo Kojima	
Members: Yuko Uematsu, Chika Kawai, Orie Kiyuna, Rie Nagahara, Masahiko Yokobori	

Executive Committee Office	
Administrative Manager: Madoka Ashihara	
Production Co-ordinators: Hirotomo Kojima, Yuko Uematsu, Chika Kawai, Orie Kiyuna, Mami Takahashi, Akiko Juman, Luna Matsushima, Mayuko Arakawa, Masahiko Yokobori, Hitomi Oyama, Shiori Sunagawa, Toshifumi Matsumiya, Marie Moriyama, Takako Yokoi	
Public Relations: Sae Horie, Yuko Yokawa	
Sales & Planning: Rie Nagahara	
Ticket Administration: Eri Watanabe, Tsubura Shishido	
Ticket Center: Yumiko Sasaki, Kumiko Sato	
Office Assistant: Saki Hirata	
Accounting: Kumiko Tsutsumi	
Administrators: Naoko Hasuike, Hisayoshi Isshiki, Kyoko Yokokawa	

Technical Director: Eiji Torakawa	
Assistant Technical Director: Yukiko Kato	
Lighting Co-ordination: Makiko Sasaki (Factor Co., Ltd.)	
Sound Co-ordination: Akira Aikawa (Sound Weeds Inc.)	
Art Direction & Design: Kosuke Kawamura	
Main Graphic Design: Satoshi Nikaicho (SHOHEI x Kosuke Kawamura)	
Website: Shinichi Hamada + Yu Shigematsu + Naoya Sugawara (loftwork Inc.)	
Overseas Public Relations, Translation: William Andrews	
Merchandise: Jun Watanabe	
Writing, Performance Leaflet Editing: Rieko Suzuki	

Asia Series Programing: Seunghyo Lee	
Schlingensief Film Series Programing: Ulrike Krautheim	

Organized by Festival/Tokyo Executive Committee, Toshima City, Toshima Future Culture Foundation, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ)	
Produced in association with Japanese Centre of International Theatre Institute (ITI/UNESCO)	
Asia Series co-produced by the Japan Foundation (The Japan Foundation East Asian Collaboration Vol.2)	
Sponsored by Asahi Breweries, Ltd., Shiseido Co., Ltd.	
Endorsed by Ministry of Foreign Affairs, GEIDANKYO, Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture), J-WAVE 81.3FM	
Special co-operation from SEIBU IKEBUKUROHONTEN, TOBU DEPARTMENT STORE IKEBUKURO, TOBU RAILWAY CO., LTD., Sunshine City Corporation, Chaocott Co., Ltd.	
In co-operation with the Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima, Toshima City Shopping Street Federation, Toshima City Federation, Toshima City Tourism Association, Toshima Industry Association, Toshima Corporation Association, Ikebukuro Nishiguchi Shopping Street Federation, NPO Zephyr, Hotel Metropolitan Tokyo, Hotel Grand City, Ikebukuro Hotel Association	
PR Support: Poster Hari's Company	
Supported by Arts Council Tokyo (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)	
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2014 (Ikebukuro/Toshima/Tokyo Arts Project Enterprises)	
Supported by Association for Corporate Support of the Arts, Japan (2021 Fund for Creation of Society by the Arts and Culture)	
Publicity Partner: Tokyo Creative Weeks	

Period: November 1 (Sat) to November 30 (Sun), 2014	
---	--

彼は言った／彼女は言った

構成・出演：モ・サ [ミャンマー]

11/19 (Wed) – 11/24 (Mon)

アサヒ・アートスクエア

Asahi Art Square

He said / She said

Direction, Performance: Moe Satt [Myanmar]



手指が伝えることば。微笑みが伝える精神

モ・サ(構成・演出)

「手」をモチーフにした過去作2本を軸に構成された本作。2011年以後の民主化改革により急速な発展を遂げるミャンマーで、人々の暮らし、コミュニケーションの変化(あるいは不変)をつぶさに見続けたアーティストからのメッセージ。

ミャンマーにいらっしゃったことはありますか？
いらっしゃった方はどう思われましたか？

貧困？ 圧政に苦しむ社会？……本作で紹介する『Hands Around in Yangon』では、ヤンゴンの人々はむしろ自主的な生活をしているという面を強調しています。現代のライフスタイルの中には、前近代的なライフスタイルも見えてとれます。路上で働く労働者、友人や地元のアーティストたちなど、私の周りの人々の手の動きを映像に収めました。手の動きで物語を伝えることはできるでしょうか？ 悲しみ、成功といった物語を。

母は、「お前の手は誰の手よりも長いね」とよく言っていました。まるでアーティストの手のように、と。自分は大人になったらアーティストになると子供の頃から分かっていました。2005年に活動を始めて以来、多くの作品で「手」にフォーカスを当てて来ました。「意味のある」手の動きと「意味の無い」手の動きという考え方でいろいろ試してみるのが好きです。この考えは自分自身の身体と空間とを使ったさまざまな組み合わせや実験に基づいています。

『F n' F (Face and Fingers)』という作品では、顔と指との関係性について探り、108の組み合わせにたどり着きました。お面のように顔を覆う手は(開)花(子供の頃の記憶)を表しますし、手で作るピストルの形は自分に向けるか外側に向けるかで全く違う意味を持ちます。アジアの宇宙学では、108は神

聖な数字で、さまざまなものを表します。108の知覚・感覚、108の煩惱、仏陀が問われた108の問い、アーユルヴェーダの108の指圧ポイント、太極拳の108の動き、除夜の鐘108つ……。

「微笑みの国ミャンマーへどうぞお越し下さい」——ジュンタ(旧軍事政権)が宣伝に使っていた言葉です。でもなぜ私たちは微笑むのでしょうか？ 人々は笑顔でこの圧政を乗り越えようとしています。だから皆さん、笑顔・笑顔・笑顔でいきましょう。“恐れを感じていても、悲しい時も、笑顔でいれば、微笑み続ければきっと明日には、人生が生きる価値のあるものだと分かるだろう……”

(ナット・キング・コール『Smile』より)
(翻訳=河井麻祐子)



モ・サ
1983年ミャンマー、ヤンゴン市生まれ。アーティスト、キュレーター。2005年理学学士(動物学)を取得後、グラフィックデザイナーを経て、パフォーマンスアーティストとしてギャラリーや街の中での活動を開始する。2008年にスタートしたミャンマーの国際パフォーマンスイベント「ビヨンド・プレッシャー」の創

設者であり主催者でもある。キュレーターとして「On/Off Myanmar Contemporary Art Event」(ベトナム)や「Forward/Backward 8 Myanmar Contemporary Artists」(タイ)を企画。マレーシアの Rimbun Dahan および韓国の Hooyong Performing Arts Centre、東京の 3331 Arts Chiyoda でのアーティスト・イン・レジデンス(滞在型制作事業)にも招聘された。

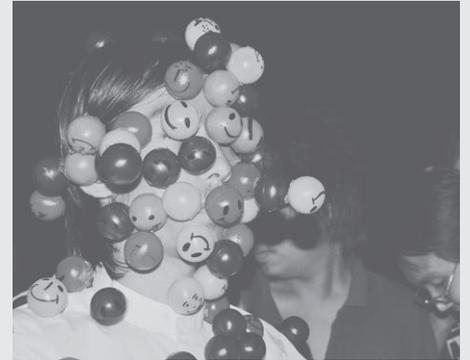
「暮らし」と「つながり」を見つめるアーティスト

モ・サは、民主化への動きが具体化の兆しを見せた2000年代以後に活動を開始した、ミャンマーの「第二世代」のアーティスト。先行世代が、感情表現を軸とする作品を通じ、軍事政権や社会主義政策への抵抗を表現したのに対し、モ・サを筆頭とする若手は、より多層的な意味を持ったコンセプチュアル・アートの制作に重点をおいている。

「手」を媒介に人々の生活、その多様性に迫った映像作品『Hands Around in Yangon』しかり、手指、顔が表現するサインを探求した『F n' F (Face and Fingers)』しかり。モ・サの眼差しは常に、人々のリアルな暮らし、コミュニケーションのあり方に向けられており、道ゆく人に色とりどりのピンポンボールに描いた「笑顔」をプレゼントしてもらった『Smiles』、街なかで通行人と共に電車ごっこを展開する『思考の電車』など、観客との対話を前提とした公共空間でのパフォーマンスも多い。



『F n' F (Face and Fingers)』(2008年)



『Smiles』(2009年)



『思考の電車 (Train in Akihabara)』(2011年)

構成・出演:モ・サ
ドラマトルック・プロデューサー:タン・フクエン
照明、舞台監督コーディネート:田代弘明(株式会社DOTWORKS)
音響コーディネート:堤田祐史(WHITELIGHT)
テクニカルコーディネート:遠藤 豊(LUFTZUG)
通訳:河井麻祐子
記録写真:片岡陽太
記録映像:株式会社彩高堂「西池袋映像」
制作:松嶋瑠奈、横井貴子
FITインターン:加藤希美、川村知也、木田みのり
広報協力:株式会社グラウンディングラボ、ASEAN Community - Japan、
認定特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン
助成:国際交流基金アジアセンター
主催:フェスティバルトキョー

Concept, Performance: Moe Satt
Dramaturge, Production: Tang Fu Kuen
Lighting Co-ordination, Stage Manager: Hiroaki Tashiro (DOTWORKS inc)
Sound Co-ordination: Yuji Tsutsumida (WHITELIGHT)
Technical Co-ordination: Yutaka Endo (LUFTZUG)
Interpretation: Mayuko Kawai
Photography: Yohta Kataoka
Video Documentation: SAIKUDO, Co., Ltd.
Production Co-ordination: Luna Matsushima, Takako Yokoi
Interns: Kimi Kato, Tomoya Kawamura, Minoru Kida
PR Support: grounding lab Co., Ltd., ASEAN Community - Japan,
Non-Profit Organization Bridge Asia Japan
Supported by the Japan Foundation Asia Center
Presented by Festival/Tokyo

ASIA center
JAPAN FOUNDATION